

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

		施設所管課	健康福祉部 介護・福祉施設課
施設名	大津市立木戸老人福祉センター他4施設		
指定管理者	社会福祉法人 大津市社会福祉事業団		
指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日		
指定管理料	年額116,322,000円(令和6年度) (総額 703,477,000 円)		
設置目的	老人福祉法第15条第5項の法廷に基づき、老人の福祉の増進を図るため、市内5か所の老人福祉センターを設置する		
業務内容	(1) 生活、心身等に関する相談及び指導 (2) 保健及び疾病の予防に関する相談及び指導 (3) 後退機能の回復訓練及び回復指導 (4) 教養の向上及びレクリエーション (5) 生業及び就労に関する相談 (6) その他市長が必要と認める事業 その他、大津市立北老人福祉センター、大津市立南老人福祉センター及び大津市立東老人福祉センターにおいては、介護保険法第8条第7項に規定する通所介護、同法第115条の45第1項第1号ロに規定する第1号通所事業その他の老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業を行う。		

所管課 総合評価	I～IVによる総合評価	総合評価コメント
	B (良好)	令和6年度は南老人福祉センターにおいて入浴事業を廃止し、リニューアルに向けた改修工事を実施した。市との連絡調整を密に行うことで利用者への混乱が生じることなく、適切に事業運営されたと評価する。また、中老人福祉センターについては、リニューアル後、最初の年度であり、トレーニングルームの利用状況が好調な事から、引き続き利用促進を図ること。

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
I 実施体制	施設の設置目的の達成 □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B (良好)	事業計画に基づき運営している	B (良好)	事業計画に基づき運営されている
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験の有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B (良好)	事業計画に基づいた職員配置を行っており、職員の労働条件等においても適正に実施している	B (良好)	事業計画に沿って、必要な職員を適正な労働条件等において雇用し、事業を実施されている
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	研修要綱に基づき、介護技術、人権・倫理、リスクマネジメント研修等に職員派遣をしている	B (良好)	介護技術、人権・倫理、リスクマネジメント研修等に職員派遣をされている
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B (良好)	法令・条例を遵守している	B (良好)	法令・条例を遵守されている
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B (良好)	個人情報の取扱いについては、協定書に基づき適切に行なっている	B (良好)	協定書に基づき適切に行われている
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	管理記録について適切に整備・保管している	B (良好)	適切に整備・保管されている
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	市へ報告すべき事項については、連絡・調整を行ない、報告書等については、速やかに提出を行なっている	B (良好)	市との連絡調整は十分図られている。報告書等も適切に提出されている
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	緊急時の連絡体制を確保するとともに、マニュアルを整備し、対応している	B (良好)	緊急時の連絡体制を確保し、マニュアルを整備して、職員に周知されている
	【I 総括】 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ 内 容 ・ 水 準	施設管理 □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B (良好)	定められた開館日、開館時間を遵守している また、施設管理運営マニュアルを整備し、職員へ周知徹底している	B (良好)	開館日、開館時間を遵守している。マニュアルを整備し、職員及び利用者の安全対策を講じている
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	入浴事業廃止～リニューアル工事までの間は利用が減るが、その後順調に回復している	B (良好)	利用者数は全体で前年度を上回っている
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	施設管理運営マニュアルに基づき、利用者対応等適切に対応している	B (良好)	施設管理運営マニュアルに基づき、利用者対応が行われている
	業務運営(全体) □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	概ね計画どおり実施している	B (良好)	概ね計画どおり実施されている
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	C(課題含)	介護予防講座や健康講座等実施。中はびすこでは、メイク教室や施設を離れてウォーキングを行うなど新しい事業を立ち上げたが、当初計画どおりには進まなかった。	C(課題含)	計画を見直して自主事業を進められたい
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	施設・設備の維持管理を適切に行なっている。 また、利用者から新たな要望等があれば応えられるよう努力している	B (良好)	指定管理者としての範囲内で施設・設備の維持管理を適切に行われている
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	パンフレットによる案内や事業団ホームページにより情報発信している	B (良好)	パンフレットやホームページを活用した情報発信を行っている。さらに発信方法について工夫を続けてほしい
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	省エネ等職員一丸となっており取り組んでいる	B (良好)	省エネ等、環境に配慮されている
	ユニバーサルデザイン等への配慮 □ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対する合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	優先駐車区画の設置など可能な範囲で合理的配慮を行なっている	B (良好)	優先駐車区画の設置など可能な範囲で合理的配慮を行なわれている
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	センターに意見箱を設置し、利用者からの意見を集約している	B (良好)	センターに意見箱を設置し、利用者からの意見を集約されている
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	3月に生きがい事業・デイサービス事業に関するアンケートを実施	B (良好)	利用者アンケートを実施されている
《Ⅱ総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準11項目／当施設11項目】			B(良好)		B(良好)	
Ⅲ 収 支 等	経理事務 □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査(金庫等)	B (良好)	つり銭管理、利用料徴収等適切に管理している また、経理執行状況については、各区分に分け管理をおこなっている	B (良好)	つり銭、利用料徴収等、適切に管理されている。 また、経理執行状況については、各区分に分けた管理を実施されている。
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入－支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	介護保険収入に関しては昨年度と比較すると減額している。 増収に向けて努力する。	B (良好)	経費の削減に努められている
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B (良好)	デマンド監視システム等電気使用料の削減に努めている	B (良好)	デマンド監視システムの導入により、電気代の削減に取り組まれている
	《Ⅲ総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】		B(良好)		B(良好)	
Ⅳ 自 己 の 取 組 他 等 一 独	その他 □ 努力事項として掲げた社会貢献及び地域貢献の取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	看護専門学校の学生の研修受け入れ、学生の福祉現場実習について受け入れを行った	B (良好)	学生の福祉現場実習の受け入れが行われている
	《Ⅳ総括》 その他に関する評価【当施設1項目】		B(良好)		B(良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

主な成果 (全体)	介護保険収入	目標	85,960 千円	⇒	実績	68,508 千円
	稼働率	目標	69.2 %	⇒	実績	56.6 %
	入浴料	目標	3,253 千円	⇒	実績	3,665 千円
	一般及びデイ利用者数	目標	104,442 人	⇒	実績	100,215 人
	【指定管理者コメント】					
	老人福祉センターの愛称が「はびすこ」に変わり、健康寿命のさらなる延伸に向けた高齢者の健康づくりの拠点として施設の役割が明確になったことから、中老人福祉センターのリニューアルを初めに、後に続く各センターにおいても今後の設備の機能充実のPRを行い、これまで施設に來なかつた個人志向の利用者や比較的年齢の若い高齢者の関心を惹きつけることができた。中老人福祉センターにおいては、入浴事業の継続を望まれる方も多かつたが、年間入浴者数(令和4年、5年)より年間ジム利用者数(令和6年)の方が多くなつている。					
	【施設所管課コメント】					
	中老人福祉センターのリニューアルによる利用者の増加については評価する。令和7年度からリニューアルされた南老人福祉センター、あとに続く各老人福祉センターにおいても、引き続き機能充実に係るPR活動を積極的に行う事で、利用者の増加を図ること。					

自主事業 実施による 成果	＜主な自主事業の実施状況＞				
	事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況 (実施・追加・未実施)	特記事項(「未実施」の場合はその理由)
	介護予防体操 (全センター)	指定自主事業	地域の高齢者を対象とした軽運動教室	実施	
	はびすこ趣味講座発表会 (全センター)	指定自主事業	市内老人福祉センターのサークル間交流を目的とした発表会	実施	
	朗仁講座 (木戸老)	指定自主事業	健康セミナー、娯楽講座、音楽鑑賞など実施	実施	
	利用者送迎 (中老)	自主事業	施設外のウォーキング、口腔ケア、健康相談、メイク(ネイル)教室など新たな自主事業を実施した。	実施	
	利用者送迎 (中老)	自主事業	中はびすこ利用拡大を目的とし、来所が困難な利用希望者を予約制にて送迎を行う	未実施	運行コース確認と職員の練習運転を行ったが、市との最終調整に手間取り試験運行まで行かなかつた。
	【指定管理者コメント】				
	介護予防体操は抽選で参加を決めなければならないほどの人気で、この事業を軸として、健康講座、健康教室を実施することで各年齢層の利用者の健康づくりのサポートを行っている。また常駐の看護師、ドクター(月2回)との相談体制も構築できている。中はびすこでは、リニューアル後の新たな自主事業の開始が遅れていたが、Ⅲ期から施設外のウォーキング、口腔ケア、健康相談、メイク(ネイル)教室などは実施できた。未実施の事業については、来年度リニューアルする南老人福祉センターの自主事業と合わせて、効率よく実施できるように準備を行っている。				
	【施設所管課コメント】				
	遅れが生じている自主事業については、引き続き事業実施に向けて取組みを進めること。また、盛況の事業については、引き続きPR活動を積極的に行い、利用促進を図ること。				

課題及び 課題解決 の結果	【指定管理者コメント】					
	中はびすこの利用者の送迎については、大津市との最終調整に時間を要し、PRなどに課題があったため手間取ってしまった。令和7年度の職員体制が整い、準備ができたい試行していく。					
	【施設所管課コメント】					
	当該自主事業については、利用者の実態把握や実効性を考慮した上で実施すること。					

特記事項等	
-------	--

※評価基準:項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A〜D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

指定管理者自己評

提出

所管課評価

通知

指定管理者

送付

行政改革推進課(ホームページ等により結果公表)